

平成25年度版

秋田市環境基本計画年次報告書（24年度の状況）

秋 田 市

本報告書は、秋田市環境基本条例（平成11年秋田市条例第15号）第10条の規定に基づき、本市の環境の状況、市が講じた環境施策の実施状況等を明らかにするため、作成したものです。

平成25年10月
秋田市環境部環境総務課

目次

環境基本計画数値目標の達成状況	1
-----------------	---

主な取組の状況（平成24年度）

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります	
第1節 大気環境	7
第2節 水環境	9
第3節 生活環境	10
第2章 多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます	
第1節 自然環境	12
第2節 身近な自然	13
第3節 自然の公益的機能	14
第4節 歴史的・文化的環境	18
第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします	
第1節 廃棄物	22
第2節 エネルギー・水資源	25
第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環（わ）となって取り組みます	
第1節 環境保全活動	28
第2節 環境配慮対策	29
第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します	
第1節 環境教育・環境学習	31
第2節 地球環境問題	37
別添資料	40

環境基本計画数値目標の達成状況

※評価

- ◎ 【目標達成】目標を達成、維持している。
- ↑ 【目標未達】前年度比で数値が改善した。
- 【目標未達】前年度比で数値が横ばいである。
- ↓ 【目標未達】前年度比で数値が悪化した。

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります

第1節 大気環境

環境指標	目標値	目標年度	24年度実績値	評価(※)	課所室	
① 大気汚染	二酸化窒素	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度	年間98%値 0.004ppm	◎	環境保全課
	浮遊粒子状物質	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.10mg/m ³ 以下)	32年度	年平均値 0.041mg/m ³	◎	環境保全課
	光化学オキシダント	環境基準の達成 (1時間値が0.06ppm以下)	32年度	最高値 0.079ppm 年平均値 0.036ppm	→	環境保全課
	二酸化いおう	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.04ppm以下)	32年度	年間98%値 0.012ppm	◎	環境保全課
	ベンゼン	環境基準の維持達成 (1年平均値が0.003mg/m ³ 以下)	32年度	年平均値 0.00078mg/m ³	◎	環境保全課
	トリクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/m ³ 以下)	32年度	年平均値 0.000033mg/m ³	◎	環境保全課
	テトラクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/m ³ 以下)	32年度	年平均値 0.000093mg/m ³	◎	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (年間平均値が0.6pg-TEQ/m ³ 以下)	32年度	年間平均値 0.0075pg-TEQ/m ³	◎	環境保全課

	二酸化窒素 (自動車排ガス)	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度	年間98%値 0.015ppm	◎	環境保全課
	一酸化炭素 (自動車排ガス)	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が1ppm以下)	32年度	年平均値 0.3ppm	◎	環境保全課
②	公用車の低公害車導入率	平成22年度=181台/343台 →平成32年度=100%	32年度	174台/323台(53.9%)	↑	環境総務課

第2節 水環境

① 水質汚濁	環境基準健康項目	環境基準の達成 (カドミウム等27項目)	32年度	調査を行なった全地点(15河川、19地点)において、環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
	環境基準生活環境項目	環境基準の達成 (pH等6項目、河川のBODを除く。)	32年度	調査を行なった22河川、34地点中、水素イオン濃度が2地点、溶存酸素量が2地点、浮遊物質量が1地点、大腸菌群数が全地点で、環境基準を達成できなかった。	↓	環境保全課
	河川のBOD	環境基準からさらに引き下げて設定	32年度	調査を行った全地点(17河川、29地点)において、環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (1pg-TEQ/L以下)	32年度	調査を行った全地点(河川2地点、海域1地点)において、環境基準を達成していた。 河川 最低値 0.12pg-TEQ/L 最高値 0.15pg-TEQ/L 平均値 0.14pg-TEQ/L 海域 平均値 0.032pg-TEQ/L	◎	環境保全課
②	地下水	環境基準の達成	27年度	平成元年度から、市域を1kmメッシュで区切り、5年間で一巡する地下水質測定計画を定め、地下水質調査を行っている。平成24年度は、市内20箇所の井戸で調査を行ない、全ての井戸で環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
③	汚水の処理率	平成22年度=95.5% →平成30年度=97.0%	30年度	96.9%	↑	上下水道局 総務課

④ 水質汚濁事故	平成17年度=41件 → 平成27年度=半減	27年度	事故件数 22件	↑	環境保全課
----------	---------------------------	------	----------	---	-------

第3節 生活環境

① 一般環境騒音	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	市内の一般環境における昼間および夜間の騒音調査を市内5地点で行なった結果、全ての時間区分で環境基準を達成していた。 一般環境騒音調査 5地点24時間連続 環境基準適合率 昼100% 夜100%	◎	環境保全課
② 道路交通振動	要請限度以下のレベルを維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	市内の主要幹線道路沿いの10地点で、昼間および夜間の交通振動調査を行なった結果、全地点、全時間帯で要請限度を下回っており、人体に感じないレベルであった。	◎	環境保全課
③ 悪臭	苦情件数の低減 (平成17年度=19件 → 平成32年度=件数半減)	32年度	苦情件数 27件	↓	環境保全課
④ 土壌の重金属	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	該当事業なし	—	環境保全課
⑤ 土壌のダイオキシン類	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	土壌に係るダイオキシン類の調査を、市内の公共用地を中心とした一般環境3地点、発生源周辺3地点で行った結果、全地点で環境基準を達成していた。 一般環境 最低値 0.028pg-TEQ/g 最高値 0.03pg-TEQ/g 平均値 0.29pg-TEQ/g 発生源周辺 最低値 0.23pg-TEQ/g 最高値 7.3pg-TEQ/g 平均値 5.1pg-TEQ/g	◎	環境保全課

第2章 多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

第1節 自然環境

市域の緑地等の割合	平成19年度＝83.8% → 平成32年度＝83.6% → 平成42年度＝83.5%	42年度	83.6% (H23.10.1現在)	→	都市計画課
-----------	--	------	--------------------	---	-------

第2節 身近な自然

① 市街化区域内における緑地面積	平成19年度＝1,837ha → 平成29年度＝1,877ha	29年度	1,847ha	→	公園課
② 市街化区域内における幹線市道の街路樹整備率	平成17年度＝ほぼ100% → 平成27年度＝100%	27年度	100%	◎	道路維持課

第3節 自然の公益的機能

① 市面積に占める森林面積の割合	平成21年度＝68.0% → 平成32年度＝69.0%	32年度	68.2%	→	農林総務課
② 間伐実施面積	平成21年度＝2,591ha → 平成27年度＝7,870ha	27年度	10,599ha	◎	農林総務課
③ 間伐実施による二酸化炭素吸収量	平成21年度＝8,370t → 平成27年度＝58,454t	27年度	100,690t	◎	農林総務課
④ バイオエタノールの製造原料としてのもみがらの利用	平成21年度＝0t → 平成27年度＝2,250t	27年度	該当事業なし	—	農林総務課
⑤ 市面積に占める農用地面積の割合	平成21年度＝10.6% → 平成32年度＝10.6%	32年度	10.6%	◎	農林総務課
⑥ 海辺の保全のためのボランティア清掃に係る支援件数	平成22年度＝31件 → 平成32年度＝45件以上	32年度	25件	↓	環境都市推進課

第4節 歴史的・文化的環境

市の歴史的、文化的施設への入場者数	平成22年度＝553,049人 → 平成27年度＝725,000人	27年度	550,079人	→	文化振興室
-------------------	--------------------------------------	------	----------	---	-------

第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

第1節 廃棄物

① 市民一人あたりの家庭系ごみの排出量 (資源化物を除く。)	平成11年度＝618g/人・日 → 平成24年度＝10%以上削減、556g/人・日以下	24年度	566g/人・日	↑	環境都市推進課
② 事業系ごみの排出量 (資源化物を除く一般廃棄物)	平成11年度＝49,138t/年 → 平成24年度＝15%以上削減、41,767t/年以下	24年度	44,208t	↓	環境都市推進課
③ 一般廃棄物のリサイクル率	平成11年度＝23.6% → 平成27年度＝38%以上	27年度	33.6%	↑	環境都市推進課
④ 最終処分場への埋立量	平成11年度＝20,798t → 平成27年度＝90%以上削減、2,079t以下	27年度	3,300t	→	環境都市推進課

第2節 エネルギー・水資源

① 市民一人あたりの家庭系の電力使用量(電灯需要)	平成21年度＝2,151kWh/年・人 → 平成32年度＝10%減、1,935kWh/年・人	32年度	2,212kWh/年・人(平成23年度末現在)	↓	環境総務課
② 市内での都市ガス使用総量	平成21年度＝40,235千m ³ /年 → 平成32年度＝10%減、36,211千m ³ /年	32年度	40,235千m ³ /年(平成23年度末現在)	↓	環境総務課
③ 水道施設の整備(有効率の向上)	平成22年度＝92.4% → 平成28年度＝95%以上	28年度	91.5%	→	上下水道局総務課
④ 省エネルギー住宅比率	平成20年度＝65% → 平成32年度＝70%	32年度	不明(5年毎の住宅・土地統計調査のため)	→	住宅整備課

第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

第1節 環境保全活動

市で認定した自然環境保全活動を行っている団体	平成17年度=3団体 →平成27年度=5団体	27年度	3団体	→	環境総務課
------------------------	---------------------------	------	-----	---	-------

第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

第1節 環境教育・環境学習

① こどもエコクラブの登録認定数と参加子ども人数	平成17年度=40クラブ、987名 →平成27年度=40クラブ、1,000名以上	27年度	40クラブ、2,236名	◎	環境総務課
② 出前講座の開催回数と受講者数	平成22年度=41回、1,908名 →平成32年度=45回、1,800名	32年度	48回、1,785名	↑	環境総務課

第2節 地球環境問題

① 市域の温室効果ガス排出量	平成2年度=2,936千t-CO ₂ →平成32年度=平成2年度比10%減	32年度	平成21年度(統計上の最新値)=3,339千t-CO ₂ (平成2年度比13.7%増、平成20年度比6.2%減)	↑	環境総務課
② 秋田市役所の温室効果ガス排出量	平成17年度=135,075t-CO ₂ →平成24年度=平成17年度比5%減	24年度	119,828t-CO ₂ (平成17年度比11.2%減)	◎	環境総務課

主な取組の状況(平成24年度)

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかなくらしを守ります

第1節 大気環境

(1) 大気環境の監視体制の整備等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	・市内9カ所の一般環境大気測定局で大気汚染物質の常時監視を行った結果、光化学オキシダントおよび炭化水素を除く5項目(二酸化いおう、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化炭素、微小粒子状物質)で、大気環境基準または指針値を達成していた。 ・測定機器の新設および更新を行った。	環境保全課
② ダイオキシン類等対策事業	・大気2箇所(年4回)、河川の水質と底質2箇所、海域の水質と底質1箇所、地下水1箇所、土壌6箇所で調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、1事業所ではばいじんの処理基準を超過していた。その他の施設の各項目については、排出(処理)基準に適合していた。なお、ばいじんの処理基準を超過していた特定施設の設置者には、適正処理を指示し、産業廃棄物管理票により適正に処理されたことを確認した。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室															
① 大気・水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・法対象施設の立入調査 19工場・事業場 ・特定粉じんの立入調査 17工場・事業場 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>公害関係法令等に基づく届出</th> <th>大気汚染防止法</th> <th>秋田県公害防止条例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定粉じん排出等作業実施届出</td> <td>17件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の設置届出</td> <td>12件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の廃止届出</td> <td>8件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>氏名変更等届出</td> <td>33件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table>	公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	秋田県公害防止条例	特定粉じん排出等作業実施届出	17件	-	ばい煙発生施設の設置届出	12件	9件	ばい煙発生施設の廃止届出	8件	6件	氏名変更等届出	33件	26件	環境保全課
公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	秋田県公害防止条例															
特定粉じん排出等作業実施届出	17件	-															
ばい煙発生施設の設置届出	12件	9件															
ばい煙発生施設の廃止届出	8件	6件															
氏名変更等届出	33件	26件															
② 公害防止協定の締結と運用	公害防止協定に基づき、施設の設置、規模の変更等について協議、確認の上、計画を了承した。 ・日本製紙株式会社板紙事業部秋田工場との公害防止協定に基づく協議 石灰焼成炉で使用する燃料の一部変更について(オイルコークスの導入) 燃料貯蔵タンク(重油)の更新について(危険物の規制に関する政令等の一部改正による) 廃棄物焼却炉で使用する燃料の一部変更について(バイオマス燃料の導入)	環境保全課															

(3) 自動車排ガス対策の充実等

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 低公害車導入・普及	市民・事業者等に率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→40ページ	環境総務課
② 自転車等駐車場の整備	四ツ小屋駅東自転車等駐車場を整備し、JR四ツ小屋駅周辺の駐輪需要に対処した。 ・事業費 9,207,870円 ・収容台数 120台	交通政策課
③ 道路改良事業	17路線、延長1,945mの道路改良工事を実施した。	道路建設課
④ 交差点改良事業	実績なし	道路建設課
⑤ 幹線道路整備事業・街路事業	・幹線道路整備事業を実施した。 割山南浜線(茨島工区) L=620m W=16-18m:道路改良工事 ・街路事業を実施した。 外旭川新川線(八橋工区) L=1,025m W=16m:道路新設工事 外旭川新川線(寺内工区) L=683m W=18m:用地補償、建物調査 泉外旭川線 L=600m W=28-35m:用地補償、建物調査、JR比較設計委託 千秋久保田町線 L=120m W=18m:用地補償、建物調査 秋田環状線(牛島駅前工区) L=660m W=16m:用地・路線測量、建物調査	道路建設課
⑥ 交通安全施設等整備事業	道路反射鏡85基、道路照明灯1基、道路区画線89km、防護柵20m、歩道666mを整備した。	道路維持課
⑦ 道路緑化整備事業	街路樹の維持管理として、泉ハイタウン5号線ほか78路線(延べ48,306㎡)の植樹帯等の除草、中通本線ほか69路線の1,476本の高木剪定、新都市大通線ほか22路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植(21本)、通行の安全確保のための街路樹根上がり補修(9箇所)を実施した。	道路維持課
⑧ エコドライブの推進	エコドライブ講習会を開催した。 ・日 時 平成24年5月19日、10月6日 ・場 所 秋田県警察運転免許センター ・参加者数 42名	環境総務課
⑨ 地方バス路線維持対策事業	生活バス路線を確保するため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス事業者 秋田中央交通株式会社 ・補助系統数 64系統 ・補助額 61,485千円(一般財源:43,264千円、県補助:18,221千円)	交通政策課
⑩ 美の国あきたエコ交通キャンペーン	毎月第4金曜日を「エコ交通の日」(ノーマイカーデー)として、ポスター掲示や庁内放送により、徒歩や自転車、公共交通機関を利用した通勤への転換を呼びかけた。 ・平成24年10月実績(重点実施月) ノーマイカーデー参加者 227名 早起き時差出勤参加者 391名	交通政策課

第2節 水環境

(1) 水環境の監視体制の整備等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	人の健康の保護に関する項目は、調査を行なった15河川、19地点全てにおいて環境基準を達成していた。また、生活環境の保全に関する項目は、調査を行なった22河川、34地点中、水素イオン濃度が2地点、溶存酸素量が2地点、浮遊物質量が1地点、大腸菌群数が全地点で環境基準を達成できなかった。	環境保全課
② 有害化学物質対策事業	公共用水域の水質および底質調査を河川2地点(旭川、岩見川)、海域1地点(下浜沖2km)で実施した結果、全ての地点で環境基準を達成していた。また、地下水の水質調査を1地点(濁川)で実施した結果、環境基準を達成していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき、届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・特定施設設置等届出件数 94件 ・立入検査 67特定工場延べ87検体 685項目 排水が基準に不適合だったのは、3事業場で、不適合項目の内訳は、水素イオン濃度が1件、浮遊物質量が1件、大腸菌群数が1件だった。	環境保全課
② 公害防止協定の締結と運用【再掲】	公害防止協定に基づき、施設の設置、規模の変更等について協議、確認の上、計画を了承した。 ・日本製紙株式会社板紙事業部秋田工場との公害防止協定に基づく協議 石灰焼成炉で使用する燃料の一部変更について(オイルコークスの導入) 燃料貯蔵タンク(重油)の更新について(危険物の規制に関する政令等の一部改正による) 廃棄物焼却炉で使用する燃料の一部変更について(バイオマス燃料の導入)	環境保全課

(3) 生活排水対策の充実等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 浄化槽設置整備事業	下水道事業計画区域外、農業集落排水整備事業区域外および個別排水処理施設整備事業整備区域外における浄化槽の設置促進のため、浄化槽設置者に対し、国・県の補助制度を活用し、補助金を交付した(2基分を補助)。	環境保全課
② 浄化槽整備推進事業	浄化槽を9基設置した。	下水道建設課
③ 農業集落排水事業	昭和58年度から事業を開始し、平成24年度には金足地区も一部の区間を残して供用開始となり、全体で23地区の供用開始となった。金足地区の平成24年度工事として、管路3,927m、マンホールポンプ20基を整備した。	下水道建設課
④ 水洗便所改造資金融資あっせん制度および助成金制度	助成金利用件数 ・融資あっせん 61件 あっせん金額 35,492千円 ・助成金交付 443件 助成金額 17,300千円	給排水課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑤ 公共下水道事業	平成24年度末実績 ・汚水面整備 A=58.3ha ・下水道普及率 91.0% ・処理可能人口 291,843人(住基人口 320,681人)	下水道建設課
⑥ 流域下水道建設費負担金	秋田市負担分(77.11%) ・補助対象分 162,544千円 ・単 独 分 0千円 ・ 計 162,544千円	上下水道局総務課
⑦ 上下水道教室の開催	上下水道教室 ・開催日 平成24年10月24日(水) ・参加者 5名 ・内 容 仁井田浄水場と水の学習館の見学、八橋下水道終末処理場の見学、漏水探知体験	上下水道局総務課
⑧ 下水道設見学受け入れ	施設見学者数 5団体 332名 (内訳) ・小中高生 4団体 281名 ・一 般 1団体 51名 ※小中校生には、園児を含む。一般には、小中高生の引率者を含む。	下水道施設課
⑨ 下水道管渠改築事業	中通六丁目地内ほかで、下水道管渠改築工事を実施した。 ・下水道管渠改築延長 L=960m ・工事費 128,088,450円	維持管理課

第3節 生活環境

(1) 生活環境の監視体制の整備等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	主要幹線道路沿い17地点および一般環境地域5地点で、騒音の調査を実施した。また、主要幹線道路沿い10地点で、振動の調査を行った。 (調査結果) ・道路交通騒音調査 全ての時間区分で環境基準を達成したのは11地点、超過したのは6地点であった。なお、全地点で要請限度を超過していなかった。 ・一般環境騒音調査 全調査地点、全時間帯で環境基準を達成していた。 ・道路交通振動調査 全調査地点、全時間帯で要請限度を超過していなかった。	環境保全課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
② ダイオキシン類等対策事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・大気2箇所(年4回)、河川の水質と底質2箇所、海域の水質と底質1箇所、地下水1箇所、土壌6箇所で調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、1事業所ではばいじんの処理基準を超過していた。その他の施設の各項目については、排出(処理)基準に適合していた。なお、ばいじんの処理基準を超過していた特定施設の設置者には、適正処理を指示し、産業廃棄物管理票により適正に処理されたことを確認した。 	環境保全課
③ 有害化学物質対策事業	継続的に摂取された場合に人の健康を損なう恐れのある物質で、大気汚染の原因となる有害物質のうち、環境基準の定められている4物質(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン)について、市内2地点で汚染状況の調査を行った。その結果、4物質全てで、環境基準を達成していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	騒音規制法および振動規制法に基づく届出 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音規制法に基づく届出 12件(設置・廃止・氏名変更等) ・振動規制法に基づく届出 5件(設置・廃止・氏名変更等) ・特定建設作業の届出 <ul style="list-style-type: none"> 騒音規制法に基づく届出 22件 振動規制法に基づく届出 13件 	環境保全課
② 道路工事の環境指導	道路工事に関する許可証や承認証に、騒音、振動等に配慮するよう条件を付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路占用許可件数 2,147件 ・自費工事施行承認件数 142件 	建設総務課

(3) 生活環境の保全対策の充実等

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	騒音・振動・悪臭に関する苦情相談 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音苦情 17件(建物の建築・解体現場での重機による作業音、事業所から発生する作業音) ・振動苦情 4件(建物の建築・解体現場での重機による振動) ・悪臭苦情 27件(畑等からの堆肥臭や腐敗臭、生活活動による雑排水からの悪臭、事業活動による悪臭等) 	環境保全課
② 環境配慮指針の普及・啓発	「秋田市環境配慮指針」について、ホームページへの掲載等により、その周知を図った。	環境総務課
③ 開発行為の指導・許可	開発許可に際し、開発工事中の環境保全対策等の条件を付した。(平成24年度開発許可実績11件)	都市計画課

第2章 多様な自然をとつとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

第1節 自然環境

(1) 多様で貴重な自然の保全

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 自然環境現況調査	<p>秋田市自然環境保全条例第3条に基づき、本市の環境保全行政の基礎資料とすることを主な目的として、秋田自然史研究会の協力のもと、旧市内の自然環境に関するモニタリング調査および補完調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査 平成16年度に実施した旧市内自然環境調査をもとに、自然環境の経年変化を把握するため、止水域(溜池)に生息する水生生物調査を行った。 【調査期間】 平成24年9月 【確認種】 底生動物 77種(うち重要種16種) 魚類 11種(うち重要種5種) 両生類 6種(うち重要種3種) 爬虫類 2種 水生植物 24種(うち重要種9種) ・補完調査 平成16年度に実施した旧市内自然環境調査を補完するため、古川流域の水生植物について調査を行った。 【調査期間】 平成24年8月～12月 【確認種】 128種(うち重要種7種) 	環境総務課
② 特別天然記念物カモシカ食害対策事業	農業被害に対して、防護網3,800m、忌避臭袋47セットを支給した。また、林業被害に対して、忌避剤を0.18haに塗布した。	文化振興室
③ 命のつなぎ(種の保存)事業	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園内の沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、秋田淡水魚研究会の協力により、沼の生息状況調査などを計2回実施したほか、ゼニタナゴの保全のために作った池の中で、約430尾の稚魚を孵化させ、元の沼に放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、約370個の稚貝を確認した。さらに、ゼニタナゴ保全活動の一環として、地域小学校等と協力し、外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて約1,400尾を駆除した。 	大森山動物園

(2) 自然とふれあいの場の創出

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 都市・農村交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月24日(金) まるごとJANGO体験ツアー 大根の種蒔き体験、出羽和紙制作体験ほか:参加者10名 ・平成24年10月27日(土) まるごとJANGO体験ツアー第2弾 大根やダリアの収穫体験、河辺の自然散策、ダリア染め体験ほか:参加者16名 ・平成25年1月15日(火) なまはげ&餅つき体験 餅つき体験、郷土料理の試食、なまはげ体験:参加者15名 	農業農村振興課
② 太平山自然学習センター運営事業	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→41ページ	太平山自然学習センター

第2節 身近な自然

(1) まちの中の緑の保全と創出

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 道路緑化整備事業 【再掲】	街路樹の維持管理として、泉ハイタウン5号線ほか78路線(延べ48,306㎡)の植樹帯等の除草、中通本線ほか69路線の1,476本の高木剪定、新都市大通線ほか22路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植(21本)、通行の安全確保のための街路樹根上がり補修(9箇所)を実施した。	道路維持課
② 都市景観形成事業	景観計画区域内における行為の届出(大規模行為)の総件数95件に対し、審査および指導を行い、その全てに対し、景観形成基準に適合する旨の判断をした。	都市計画課
③ 都市公園整備事業	千秋公園の市民交流ゾーン整備、さくら景観整備等を実施した。(進捗率(事業費ベース)76.3%)	公園課
④ 緑化重点地区整備事業	新屋駅周辺地区内の栗田町第二街区公園と大森山公園を整備した。(進捗率(事業費ベース)100%)	公園課
⑤ 保存樹管理事業	所有者の理解と協力を得ながら、保存樹の保全に努めた。 ・維持管理委託 保存樹診断事務委託:6本(6箇所)	公園課

(2) 親しみやすい水辺の保全と創出

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 内水面資源維持対策事業	各事業主体で、魚の放流を行った。 ・岩見川漁業協同組合(事業実施期間 6月8日～30日) ア ヌ(6/8、13) 100,000尾 ヤマメ(6/17、23、24) 135,000尾 イワナ(6/30) 20,000尾 ・仙北西部漁業協同組合(事業実施期間 6月4日～10月19日) ア ヌ(6/4日) 30,000尾 ヤマメ(6/22) 5,000尾 イワナ(6/22) 5,000尾 コ イ(10/19) 8,000尾 ・市 サ ケ(4/14) 30,000尾 ア ヌ(6/3) 1,000尾 ヤマメ(6/12) 2,000尾	農業農村振興課
② 河川改修事業	普通河川古川の牛島工区において、築堤護岸工延長15mが完了した。また、地質調査業務委託、設計業務委託、建物等調査(事後)業務委託などを実施した。	道路建設課
③ 河川環境整備事業	普通河川古川について、土砂堆積による河道閉塞部の浚渫や護岸補修など(合計190m)を実施した。	道路建設課
④ 橋りょう整備	本田橋の上部工の製作、架設を行ったほか、左岸護岸の整備を実施した。	道路建設課

(3) 雪と向き合うまちづくりの実践

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 除排雪対策事業	道路の除排雪に備えるため、平成24年11月12日から翌年の3月31日までの期間に、秋田市道路除排雪対策本部を建設部道路維持課内に設置し、円滑な道路交通の確保に努めた。また、昨冬は1月12日時点で60cmの積雪深となり、さらに降雪が予想されたことから、市長を総本部長とする秋田市道路豪雪対策本部を設置し、適切な除排雪に努めた。	道路維持課
② 雪みち計画(歩道無散水消融雪施設の設置)	仲小路2号線ほか2路線の歩道消融雪設備工事(L=1, 246.1m)を実施した。	道路維持課
③ 冬みち安全安心対策除雪強化事業	実績なし。	道路維持課
④ 市民向け除排雪支援制度の充実	・小型除雪機械を12町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。 ・ダンプトラック又は積込機械を23町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。	道路維持課
⑤ 公共交通の確保	・地方バス路線維持対策事業 生活バス路線の維持のため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス交通総合改善事業 郊外部における不採算バス路線の廃止代替交通を運行した。 秋田市マイタウン・バス西部線、北部線、笹岡線、南部線、東部線の運行を継続した。	交通政策課
⑥ 融雪施設改良事業	中台団地1号線ほか2路線の融雪施設改良工事(L=315.6m)を実施した。	道路維持課

第3節 自然の公益的機能

(1) 森林の公益的機能の保全と活用

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 地域防災計画策定事業	地域防災計画および防災カルテを市ホームページ等で公開し、周知に努めた。	防災安全対策課
② 森林環境保全整備事業	民有林の保育作業等に対する支援のため、森林施業に必要な地域活動(3地区4, 216.56ha)に対して交付金を交付したほか、民有林8箇所48.00haに対して間伐経費の一部を助成し、一層の間伐促進を図った。	農地森林整備課
③ 市有林経営	市有林経営として、施業計画に基づき、除伐15.67ha、枝打10.36ha、間伐141.24haの保育事業を実施し、森林資源の質的向上を図った。	農地森林整備課
④ 県単局所防災事業	山地災害を防止するため、下記の地区において県単局所防災事業を実施した。 雄和神ヶ村字窪地内 法枠工 A=17m ²	農地森林整備課
⑤ 森林病虫害等防除事業	森林資源としての松林を保全し、市民の生活環境を保全するため、市内全域にわたり、松くい虫被害木の伐採処理(1,373m ² 、2,048本)を実施したほか、松くい虫被害拡大防止策として、地上薬剤散布を4.99ha、樹幹注入を対象木67本(薬剤450本)に実施した。	農地森林整備課
⑥ 林道の整備	林道等の林業生産基盤の整備として、雄和相川地区にある林道「小杉前線」の改良工事(L=1,020m W=4.0m)を実施した。	農地森林整備課
⑦ 水と緑の森づくり事業	マツ林健全化整備事業として、松くい虫により枯死し、景観維持、安全面から支障になる立木の伐採処理(1,993m ² 、2,915本)を実施した。	農地森林整備課

(2) 農地の公益的機能の保全と活用

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 地域防災計画策定事業【再掲】	地域防災計画および防災カルテを市ホームページ等で公開し、周知に努めた。	防災安全対策課
② スーパー市民農園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・樺台スーパー農園 平成24年4月14日(土) 農園使用開始 平成24年11月3日(土) スーパー農園農産物展示会 ・仁井田スーパー農園 平成24年4月14日(土) 農園使用開始 平成24年11月3日(土) スーパー農園農産物展示会 	農業農村振興課
③ 都市・農村交流促進事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月24日(金) まるごとJANGO体験ツアー 大根の種蒔き体験、出羽和紙制作体験ほか:参加者10名 ・平成24年10月27日(土) まるごとJANGO体験ツアー第2弾 大根やダリアの収穫体験、河辺の自然散策、ダリア染め体験ほか:参加者16名 ・平成25年1月15日(火) なまはげ&餅つき体験 餅つき体験、郷土料理の試食、なまはげ体験:参加者15名 	農業農村振興課
④ 環境保全型農業直接支援対策事業	環境保全型農業に取り組んだ農家に対し、交付金を交付した。 8件 対象面積11,880㎡ 交付金額 475,200円	農業農村振興課
⑤ 中山間地域等振興対策事業	協定締結集落3地区に交付金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・金足浦山 150,124円(A=23,457㎡) ・雄和碓田 491,609円(A=76,814㎡) ・雄和萱ヶ沢 798,636円(A=124,787㎡) 	農業農村振興課
⑥ 農道の整備	農業生産性の向上と生活環境の改善による定住条件の整備を図るため、下記の地区において、農道舗装を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・上北手荒巻 L=83m W=2.0m ・金足鳩崎地区 L=90m W=2.0m ・上北手大山田地区 L=65m W=2.7m ・雄和芝野地区 L=173m W=4.0m ・下新城小友地区 L=80m W=3.0m ・豊岩豊巻 L=100m W=4.0m 	農地森林整備課
⑦ 市単独土地改良事業補助金	国・県の補助対象とならない小規模土地改良事業に対し、市単独で補助した。 <ul style="list-style-type: none"> ・水路・揚水機改修等(上新城五十丁地区ほか7地区 水路工 L=788m 揚水機1基) 	農地森林整備課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑧ 県営土地改良施設等整備事業費負担金	<p>県営事業の円滑な実施を図るため、事業費の一部を負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備 <ul style="list-style-type: none"> 雄和銅屋地区 補完工 一式 雄和平沢地区 調査設計 一式 ・ため池等整備 <ul style="list-style-type: none"> 仁井田堰2期地区 水路工 L=364m 金足杉沢地区 堤体工 一式 雄和釜ヶ沢地区 堤体工 一式 雄和芝野地区 頭首工 一式 河辺寺田地区 実施設計 一式 外旭川穴堰地区 調査 一式 山内松原 調査 一式 ・基幹水利ストックマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 仁井田地区 頭首工 一式 	農地森林整備課
⑨ 県単局所防災事業【再掲】	<p>山地災害を防止するため、下記の地区において県単局所防災事業を実施した。</p> <p>雄和神ヶ村字窪地内 法枠工 A=17㎡</p>	農地森林整備課
⑩ 土地改良施設管理費補助金	<p>土地改良施設の機能維持を図るため、維持管理事業に補助した。</p> <p>・添川地区ほか4地区(頭首工1・揚水機1・ため池1・水門1・水路工L=182m)</p>	農地森林整備課
⑪ 土地改良施設維持管理経費	<p>土地改良施設の機能維持を図るため、施設の修繕や環境整備を実施した。</p> <p>・下新城岩城ほか16箇所(農道修繕8・水路修繕7・ため池修繕2)</p> <p>広域農道除草 A=56,680㎡</p> <p>農道補修用採石配布(下北手松崎ほか24地区、V=466㎡)</p>	農地森林整備課
⑫ 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	<p>農地・農業用水等の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみの活動に支援した。</p> <p>・四ツ小屋末戸松本地区ほか(共同活動支援交付金15・向上活動支援交付金5)</p>	農地森林整備課

(3) 海の公益的機能の保全と活用

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 大気・水質等環境保全事業	<p>地先海域と海水浴場の水質調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田市地先海域および秋田港7地点 人の健康の保護に関する項目および生活環境の保全に関する項目(延べ760項目)は、全調査地点で環境基準を達成していた。 ・3海水浴場(下浜、桂浜、浜田)のそれぞれ2地点 開設前、開設中の調査ともに、すべての地点で「水質が良好な水浴場」と判定される水質AA又は水質Aであった。 	環境保全課
② 定期フェリー便需要拡大推進	<p>秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加</p> <p>【部会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月24日(秋田地方総合庁舎 大会議室) 委員13名出席 <p>【利用促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーPR活動 <ul style="list-style-type: none"> 秋田航路PR広告の掲載 秋田航路PRイベントの開催 秋田港海の祭典参加 ・利用者に対する情報・サービス提供 <ul style="list-style-type: none"> 秋田航路PR用ランチョンマットの作成 図書寄贈事業 ・需要の掘り起こし <ul style="list-style-type: none"> 北海道「秋田情報プラザ」との意見交換 鶏糞輸送実験 <p>【宣伝活動事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進事業と一体的に各種媒体を使ってフェリー秋田航路の宣伝を実施 <ul style="list-style-type: none"> 報道機関への投げ込み 協議会ホームページへの掲載 フェリー秋田航路のPRリーフレットの配布 フェリー秋田航路のPRリーフレットの備え付け(県立図書館) 	港湾貿易振興課

第4節 歴史的・文化的環境

(1) 歴史的・文化的遺産の継承と活用

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 都市公園整備事業 【再掲】	千秋公園の市民交流ゾーン整備、さくら景観整備等を実施した。(進捗率(事業費ベース)76.3%)	公園課
② 地蔵田遺跡環境整備事業	市民ボランティアと協力して史跡の整備を行ったほか、市民参加による体験イベントや学習講座等を行い、郷土学習に活用した。 ・整備 1号・3号竪穴住居屋根差し茅補修 5月25日～6月6日 木柵一部更新 7月3日～7日、8月24日～9月7日 ・体験イベント 弥生体験講座(差し茅・火おこし体験) 6月3日 弥生体験講座(石斧伐採・木柵復元体験) 7月7日、9月7日 弥生っこ村まつり 10月13日	文化振興室
③ 史跡秋田城跡環境整備事業	・史跡秋田城跡環境整備工事 史跡公園見学者のための公衆トイレを建設した(建築面積43.48㎡)。 ・発掘調査 第100次調査を大畑地区中央部で実施し、城内東大路北側の土地利用状況を確認した(463㎡)。 第101次調査を大小路地区北部で実施し、秋田城跡の基本構造を把握するうえで大きな成果となる、外郭南門と城内南大路の一部を確認した(172㎡)。 ・活用事業 市民を対象に、学習講座、史跡探訪会(史跡内の野鳥観察)、発掘調査現地説明会、秋田城跡パネル展(2回)を開催した。また、秋田城跡から出土した貴重な遺物を紹介するパンフレットを作成、配布した。さらに、小学生を対象とした発掘体験教室を開催するとともに、地域住民と協同で活用イベントとして東門ふれあいデーを実施したほか、近隣の小学校で出前授業を実施した。 ・土地公有化事業 土地買い上げ予定面積390,221㎡(昭和41年～平成88年)のうち、平成24年度は711,97㎡を買い上げ、進捗率が70.96%となった。	秋田城跡調査事務所
④ 秋田城跡史跡公園管理事業	・史跡公園・公有化土地草刈り 約20ha(整備地4回、公有地1回) ・史跡公園沼清掃(1回) ・危険樹木伐採・整枝 26本 ・松枯れ防除 6本 ・東門見学者用ドア修繕 ・外郭東門地区外灯修繕 ・公衆・東門見学者トイレ清掃 2棟(2回/週)	秋田城跡調査事務所
⑤ 史跡秋田城跡歴史資料館(仮称)整備事業	資料館の展示基本設計を行った。	秋田城跡調査事務所
⑥ 文化財保護活用推進事業	・歴史の道活用事業として、文化財イラストマップを活用した文化財まちあるきを実施した。 期日:5月19日(土) 参加者数 21名 ・文化財保護強調週間(11月1日～7日)関連事業として、文化財めぐりを実施した。 期日:11月30日(金) 参加者数 19名 ・文化財防火デー(1月26日)に伴い、防火訓練等を実施した。 期日:1月25日(金) 参加施設・文化財:天徳寺、赤れんが郷土館、旧松倉家住宅、旧黒澤家住宅、彌高神社、如斯亭庭園、秋田城跡調査事務所、地蔵田遺跡	文化振興室

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑦ 赤れんが郷土館、民俗芸能伝承館	<p>【赤れんが郷土館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展・常設展の開催 赤れんが館築100年記念「洋風建築INあきた 第1部県内の洋風建築」などの企画展を、前期展・後期展を含めて5回開催し、県内の洋風建築や郷土の歴史、民俗、美術工芸などについて紹介した。 勝平記念館で5回、関谷記念室で2回の展示替えを行い、郷土が生んだ先人とその作品について紹介した。 国の重要文化財「旧秋田銀行本店本館(赤れんが館)」の資料と秋田の伝統工芸品を紹介した。 ・教育普及事業 各展覧会や展示資料、郷土についてより理解を深めるための講座を10講座13回開催したほか、赤れんが館コンサートを開催した。 築100年記念事業として、洋風建築の赤れんが館について、さまざまな角度から学ぶ講演会を5回開催し、赤れんが館の100歳の誕生日7月7日にキャンドルナイトと雅楽の調べを開催した。また、洋風建築で秋田の竿燈を披露した。 ・資料調査収集事業 郷土の歴史文化に関する資料の充実を図り、市民に知識と情報を提供するため、資料の受託を受けた。 ・ネットワーク事業 秋田市内の県立・市立の文化施設ネットワーク(愛称:みるかネット)で連携し、ギャラリートークリレー、みるかネット講座を開催した。 <p>【民俗芸能伝承館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 国の重要無形民俗文化財である「秋田の竿燈」をはじめとした郷土の民俗行事・芸能に関する資料や、市の有形文化財である旧金子家住宅を紹介した。 ・教育普及事業 秋田万歳講座などの講座を4講座20回開催したほか、市内の民俗芸能の保存と啓発、伝承を目的に民俗芸能合同発表会を開催した。 ・資料調査事業 来館者の理解を深めるため、「民俗芸能・行事解説シート」を作成し、館内に設置した。 	赤れんが郷土館
⑧ 佐竹史料館	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展(年3回) ・常設展(年3回) ・学習講座(7講座、16日間) ・黒澤家日記解読事業(天保9年資料集(十四)を解読刊行した。) ・子供向け事業(7月28日) ・館蔵資料の修復および資料調査収集事業(寄贈3件、購入:佐竹義格筆「竹の図」他4点) 	佐竹史料館

取組名	24年度 of 取組実績	担当課所室
⑨ 千秋美術館	<p>【常設展の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡田謙三記念館の常設展示を行った(3回展示替、通年)。 ・コレクション展「秋田蘭画を中心に」など、2回開催した。 <p>【企画展の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブルーノ・ムナーリのアートとあそぼう！」展など、5回開催した。 <p>【企画展の関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会を開催した(5回)。 ・ギャラリーツアー・スペシャルギャラリートークを開催した(2回)。 ・ティー・セミナーを開催した(2回)。 <p>【美術資料充実事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入「寺崎廣業・郭子儀」 ・修復「金沢秀之助・X繊維業者組合」 ・寄贈「池内茂吉・彼方から」ほか1件 <p>【教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館来館記念カード「千秋美術館へ行こう！」を発行した。 ・ワークショップ・実技講座を開催した(9回)。「アートとあそぼう！テクスチャー」ほか ・美術講座を開催した(2回)。「秋田蘭画とその表現・ロンドン美術散歩」 ・館長講座「愉しい漆芸のはなし」を開催した(4回)。 ・新人学芸員が案内する美術館講座「アートを旅する」を開催した(6回)。 ・館外講座を開催した(5回)。「秋田蘭画の魅力」ほか <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図録フェアを開催した。(12月20日から2月3日まで) 	千秋美術館
⑩ 藤倉水源地	特記事項なし。	上下水道局総務課
⑪ 竿燈まつり振興事業	竿燈まつり実行委員会に対して、まつりの実施に係る安全対策および環境衛生対策事業に係る補助支援を行った。	観光物産課
⑫ 桜・つつじまつり事業	千秋公園桜・つつじまつり事業に係る環境衛生対策を、(財)秋田観光コンベンション協会に委託したほか、太平川の桜まつり(観桜会)事業に対し、補助金を交付した。	観光物産課
⑬ 桜・つつじまつり事業	あらやさくら公園観桜実行委員会に対して、開催事業費を補助した。	西部市民サービスセンター
⑭ 土崎港まつり支援	土崎港祭り実行委員会に対して、開催事業費を補助した。	北部市民サービスセンター

(2) 歴史的・文化的環境を活かした活動の支援

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 秋田市民交流プラザ 市民活動育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー相談件数 302件 ・サロン来訪団体数 402団体 ・ヨルカイギ(まちづくり等をテーマに3回開催) 61人参加 ・市民活動支援連続講座(自分の働きをいかすためのワークショップ等2回開催) 35人参加 ・市民活動フェスタ(市民活動団体ブース展示等) 2,500人参加 ・市民活動なんでも講座(情報発信、場づくりをテーマに1回開催) 28人参加 ・市民活動トークセッション(市民活動をテーマとしたトークセッション1回開催) 52人参加 ・親子講座(福祉(バリアフリー)等をテーマに1回開催) 27人参加 	秋田市民交流 プラザ管理室
② 文化施設等の事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・千秋美術館 入館者数 34,938人 企画展5回と常設展を開催、ワークショップや講座等の教育普及事業を行った。 ・赤れんが郷土館 入館者数 20,269人 企画展5回と常設展、赤れんが館コンサート等の教育普及事業を行った。 ・民俗芸能伝承館・旧金子家住宅 入館者数 35,166人 施設利用者数 13,065人 常設展示と秋田市民俗芸能合同発表会等の教育普及事業を行った。 ・佐竹史料館・久保田城御隅櫓・旧黒澤家住宅 入館者数 38,218人 企画展2回と常設展の開催、佐竹史料館学習講座等の教育普及事業を行った。 ・河辺農林漁業資料館 入館者数 251人 常設展示と特別コーナー展示を行った。 ・文化会館 入館者数 347,311人 自主事業として、「秋田子ども邦舞・邦楽公演」と劇団四季「こころの劇場」、「シエナ・ウインド・オーケストラ公演」等を行った。 	文化振興室
③ 文化振興基金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第29回秋田市文化選奨 芸術・学術分野において、前年度優れた作品・成果を発表し、本市文化の振興に寄与した個人・団体を表彰した。 受賞者(舞踊部門) 藤間玲翠 清元「吉原雀」 (美術部門) 熊谷 晃 変塗蒔絵螺鈿箱「春」 表彰式 平成24年7月23日 秋田ビューホテル ・秋田市文化振興助成事業 本市文化の向上に寄与すると認められる市民の自主的な文化活動に対し、事業費の一部を助成した。 文化振興助成事業(一般) 秋田男声合唱団第10回記念演奏会 斎藤洋ピアノリサイタル 秋田のピアノ曲 第10回記念三吉節全国大会 文化振興ヤングクリエイター助成事業 松尾沙樹ヴァイオリンリサイタル ampersand[&]DANCE@SPACE project vol.3 Blue Voyage“Re” オペラチック! in Summer フレッシュ・ガラ・コンサート～鳥井俊之氏を迎えて～PartIV～ 	文化振興室
④ 公民館や図書館等の事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館や市民サービスセンター、図書館等では、各種学級や写真展示・資料展示などで、郷土の歴史や文化を自主的に学び、地元や秋田県内に伝わる郷土芸能伝承活動に取り組んだ。 ・公民館等(4公民館、4市民サービスセンター)17件 参加延べ人数 1,475人 ・図書館(4館、1分館)15件 参加延べ人数 6,457人(講座等、写真展・資料展示) 	生涯学習室

第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

第1節 廃棄物

(1) 廃棄物等の発生抑制

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理	一般廃棄物を適正処理するために「平成24年度秋田市一般廃棄物処理実施計画」を公表し、廃棄物の発生抑制に向けた取組を実施した。	環境都市推進課
② ごみ減量対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系生ごみの減量を一層推進するため、生ごみ堆肥化容器の購入に対して補助した(1基につき上限3,000円、1世帯2基まで)。 販売基数 1,458件 補助金額 3,115,500円 ・生ごみ堆肥づくりを支援するため、コンポスター、ダンボール箱、EM菌を活用した講座を開催した(参加人数 270人)。 ・廃棄物の適正分別によるごみの減量とリサイクルの推進を図るため、資源化物を回収する集団回収の実施団体および回収業者に対して、奨励金を交付した(奨励金交付団体575団体、奨励金12,266,366円) ・平成24年7月1日から、回収品目の単価を増額した。 雑誌・雑がみ 4円から6円 新聞・ダンボール箱・紙パック 1.5円から2円 ・ごみ減量・分別井戸端会議やごみ減量説明会を開催した(224回)。 ・マイバッグ作り講座を開催し、ごみ減量を啓発した。 ステンシル、染めなど 3回 新聞エコバッグ作り 8回 ・マイバッグ推進、レジ袋削減ポスターを作成し、市関係機関や店舗等に掲示した(A1判 300枚)。 	環境都市推進課
③ 環境学習推進事業	小学校、児童館等を訪問し、児童や親子に対して、ごみ減量や再資源化についての環境学習を行った(学校等訪問回数 13回)。	環境都市推進課
④ 総合環境センターの施設見学	<p>【溶融施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体数:111団体 ・参加人数:3,983人 <p>【リサイクルプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体数:103団体 ・参加人数:3,833人 	総合環境センター

(2) 循環資源の再使用・再生利用

取組名	24年度の実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	211事業を訪問し、調査・指導により、事業系一般廃棄物の分別・再資源化を図った。	環境都市推進課
② 古紙ステーション回収システムの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙ステーション回収量 9,283t ・回収支援経費 3,869千円 	環境都市推進課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
③ 資源化物の適正処理	<p>【容器包装リサイクル法に基づく、資源化物の特定事業者への引渡し量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びん無色 963, 890kg ・びん茶色 860, 460kg ・びんその他 577, 000kg ・PET 842, 550kg <p>【資源化量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶 スチール 543, 190kg ・缶 アルミ 576, 780kg ・乾電池 70, 000kg 	総合環境センター
④ 廃棄物発電の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2号溶融炉による発電量 56, 997, 150kWh ・平成24年度売電収入 348, 190, 176円（税込み） 	総合環境センター
⑤ 生活用品交換案内	<p>登録受付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆずる 14件 ・ほしい 31件 ・交渉成立 6件 	市民相談センター
⑥ グリーン購入・グリーン調達の推進	<p>【環境総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 <p>【契約課】</p> <p>用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。</p> <p>※別添資料→42ページ</p>	環境総務課
⑦ 各種建設・改築事業	<p>道路工事において、環境負荷の低減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品（溶融スラグ入り）を活用した。 	駅東工事事務所
⑧ 各種建設・改築事業	<p>配水管整備事業や施設改良事業等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装材(アスファルト)は、再生材を使用し、取り壊した舗装(アスファルト・コンクリート)は、再生処理するなど環境に配慮したまちづくりを実践した。 ・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。 	水道建設課

(3) 廃棄物の適正処理

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理【再掲】	一般廃棄物を適正処理するために「平成24年度秋田市一般廃棄物処理実施計画」を公表し、廃棄物の発生抑制に向けた取組を実施した。	環境都市推進課
② 廃棄物処理施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理 焼却施設更新事業として、焼却棟のごみを熔融棟に搬出するためのごみ搬出装置設置工事(処理容量2t/回)を行い、完成させた(事業費:12,964,000円)。 ・し尿処理 し尿処理施設更新事業に平成22年度から着手し、処理施設の新設工事等を行い、完成させた(処理能力175kl/日)。この新施設の運転開始に伴い、200kl/日(低希釈二段活性汚泥処理方式)施設の処理を休止した。 平成25年4月には、機構改正に伴い、向浜事業所を廃止し、秋田市汚泥再生処理センターに名称変更した。また、運転業務の委託を開始した(事業費:685,027,000円)。 	環境総務課
③ ごみ収集業務の収集体制の見直し	直営収集車の民間委託化は、平成22年度で当初計画どおり終了した(民間委託台数 51台)。	環境都市推進課
④ 粗大ごみ戸別収集事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収集量 594 t ・収集件数 21,438 件 ・収集個数 53,479 個 ・証紙売上額 20,457 千円 	環境都市推進課
⑤ 産業廃棄物処理施設等の監視・指導	立入検査計画に基づき、立入検査を実施した。立入件数263件(うち文書指導0件、口頭指導2件)	廃棄物対策課
⑥ 不法投棄対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・林道や側道を中心に、10台の移動式監視カメラを設置した(延べ47箇所に設置)。 ・委託、職員、不法投棄監視員によるパトロールを実施した。 委託によるパトロール 230日(早朝24日、夜間53日、日中153日) 職員によるパトロール 250日(早朝18日、夜間7日を含む。) 不法投棄監視員によるパトロール(随時) ・全国ごみ不法投棄監視ウィークでの取り組みとして、のぼり旗・ポスターの掲示や合同パトロールを実施した。 国土交通省秋田河川国道事務所との合同パトロールの実施(6/1) 潟上市との合同パトロールの実施(6/4) 不法投棄監視員との合同パトロールの実施(5/30~6/5) ・不法投棄ゼロ宣言事業を7地区で実施した。 実施地区(下浜名ヶ沢、雄和女米木、河辺戸島、雄和平尾島、下新城岩城、金足片田、太平野田) ・警察との合同パトロールを実施した(7/4)。 ・広報あきたを活用した啓発を行った(4/20号から2/15号まで17回掲載)。 	廃棄物対策課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑦ 一般廃棄物の適正処理	<p>【収集実績(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ 65,671t ・粗大ごみ 594t <p>資源化物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空きびん 2,415t ・空きかん 1,252t ・ペットボトル 931t ・金属類 730t ・ガス・スプレー缶 5t ・使用済み乾電池 24t <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙類 9,283t ・集団回収 4,217t <p>【総合環境センター(処理量)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熔融実績 136,364t ・埋立実績 4,152t ・破碎処理実績 2,571t ・実績合計 143,087t <p>【向浜事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理実績 44,678kℓ 	環境都市推進課
⑧ 畜産環境対策・有機農業等推進業務	<p>家畜排せつ物に関しては、秋田県および関係機関と連携し、秋田市内3地域(北部・河辺・雄和)を対象とした巡回を行い、適正な処理と有効活用の啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査日 平成24年6月7日 ・対象畜産農家 8戸 	農業農村振興課

第2節 エネルギー・水資源

(1) 省エネルギーの推進と利用効率の向上

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 環境配慮指針の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「秋田市環境配慮指針」をホームページに掲載し、その周知を図った。 ・環境配慮に関する情報紙「e-市民だより」を発行(隔月)し、啓発イベントでの配布、公民館やコミュニティセンター等の公共施設への掲示により、意識啓発を図った。 	環境総務課
② エコオフィスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・エコあきた行動計画に基づき、年間を通して、市の事務事業に伴う環境の負荷の軽減に取り組んだ。 ・四半期毎に取り組み実績を報告させ、前年度同期との比較表を作成し、意識付けを行った。 <p>※別添資料→43ページ</p>	環境総務課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
③ 定期フェリー便需要 拡大推進【再掲】	<p>秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加</p> <p>【部会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月24日(秋田地方総合庁舎 大会議室) 委員13名出席 <p>【利用促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーPR活動 <ul style="list-style-type: none"> 秋田航路PR広告の掲載 秋田航路PRイベントの開催 秋田港海の祭典参加 ・利用者に対する情報・サービス提供 <ul style="list-style-type: none"> 秋田航路PR用ランチョンマットの作成 図書寄贈事業 ・需要の掘り起こし <ul style="list-style-type: none"> 北海道「秋田情報プラザ」との意見交換 鶏糞輸送実験 <p>【宣伝活動事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進事業と一体的に各種媒体を使ってフェリー秋田航路の宣伝を実施 <ul style="list-style-type: none"> 報道機関への投げ込み 協議会ホームページへの掲載 フェリー秋田航路のPRリーフレットの配布 フェリー秋田航路のPRリーフレットの備え付け(県立図書館) 	港湾貿易振興課
④ グリーン購入・グリーン 調達推進【再掲】	<p>【環境総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 <p>【契約課】</p> <p>用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。</p> <p>※別添資料→42ページ</p>	環境総務課
⑤ スマートシティ情報統 合管理基盤の構築	センサーを設置するなど、市役所のエネルギー使用状況の可視化を行い、エネルギー削減に努めた。結果、センサー設置施設では、対前年比3.2%削減を達成した。	環境総務課
⑥ 地域ESCO事業の導 入	市有4施設(秋田テルサ、サンライフ秋田、保健センター、山王中学校)について、ESCO事業による省エネ改修を実施した。	環境総務課
⑦ 町内防犯灯のLED 化	町内会で管理する市内の防犯灯約28,500灯について、水銀灯や蛍光灯などから、消費電力が少なく、寿命が長いなど環境にやさしいLED防犯灯(白色系10ワット)への取り替えが完了し、平成24年10月1日からESCOサービス契約が開始した。	生活総務課
⑧ 長期優良住宅の認定	平成24年度 認定件数264件	住宅整備課

(2) 新エネルギー利用の促進

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 新エネルギー普及・啓発事業	市内の住宅に太陽光発電システムを設置する、又は市内に太陽光発電システム付き住宅を購入する市民に補助金を交付し、新エネルギーの普及を図った。 ・補助件数 319件 ・総最大出力 1,330.85kW ・補助総額 34,111千円	環境総務課
② 廃棄物発電の実施【再掲】	・1、2号溶融炉による発電量 56,997,150kWh ・平成24年度売電収入 348,190,176円(税込み)	総合環境センター
③ 公共施設整備にあたっての新エネルギーの導入	秋田県の公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金を活用し、市有施設に再生可能エネルギーを導入した。 ・土崎中学校 太陽光発電 16.72kW ・市民サービスセンター(4箇所) ソーラー式LED外灯 2基/施設 ・コミュニティ施設(14箇所) ソーラー式LED外灯 2基/施設	環境総務課

(3) 水資源の保全と有効利用

取組名	24年度の実績	担当課所室
① 秋田市水道事業基本計画に基づく取組	【配水管整備事業】 ・布設および布設替延長 16,748.5m ・事業費 1,175,318千円 【漏水調査業務委託】 ・調査延長 816.4km ・調査戸数 83,178戸 ・事業費 24,034千円 【平成24年度有効率】 91.5%	上下水道局総務課
② 地下水の水質監視	・地下水質測定計画を定め、市内全域を1kmメッシュで区切り、水質調査を実施。30井戸において調査を行った(内訳 概況調査20、継続監視5、土崎5)。 ・継続監視井戸5井戸中、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が2井戸、テトラクロロエチレンが1井戸で、環境基準を達成できなかった。その他は、環境基準を達成していた。	環境保全課
③ 雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会との連携	国、県および流域8市町村で構成する雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会では、雄物川の環境美化や環境保全を図るため、流域一斉のクリーンアップの実施や油流出事故等に関する情報を共有するため、連絡体制の整備・強化を図っている。 ・雄物川流域一斉清掃の実施 日時 5月27日(日) 場所 雄物川右岸 参加人数 471名 回収量 1.5t ・雄物川水系水質事故緊急措置演習の実施(油類流出事故を想定) 日時 11月28日(水) 場所 秋田市雄物川古川排水樋門	環境保全課
④ 森林の整備	「市有林経営」として施業計画に基づき、除伐15.67ha、枝打10.36ha、間伐141.24haの保育事業を実施し、森林資源の質的向上を図った。	農地森林整備課

第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

第1節 環境保全活動

(1) 市民の環境保全活動の促進

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	平成24年1月～12月までの資源集団回収量 ・びん46.8t、金属27.4t、新聞2524.7t、ダンボール729.6t、雑誌類879.9t、紙パック1.3t、ウエスほか0.7t(合計4210.4t)を回収した。	環境都市推進課
② 自然環境保全市民活動計画の推進	自然環境保全条例に基づき、市民活動計画として認定した団体の活動支援および活動のPRを行った(市民活動計画認定団体(3団体))。 ・大学病院前の水辺環境を守る会(愛称:ホータル会) 会員数:約80名 活動内容:水路の清掃、草刈り、生物の勉強会など ・日本野鳥の会秋田県支部 会員数:約250名 活動内容:野鳥観察 ・秋田森の会・風のハーモニー 会員数:約300名 活動内容:炭焼き体験、植樹、森林体験など	環境総務課
③ 活動団体への講師の派遣	・各種環境学習会の開催に際し、職員を講師として派遣した(48回)。環境学習サポート事業 ・井戸端会議(出前講座)を開催し、職員を講師として派遣した(99回)。	環境総務課
④ 消費者啓発事業	消費者講座開催時に、ごみ減量などに関する啓発資料を配付した。	市民相談センター
⑤ 空閑地の美化事業	・空閑地の除草の勧告を行い、良好な生活環境の確保に努めた。 ・空閑地除草強化旬間を設け、空閑地の良好な生活環境の確保を図った。(7月20日～7月31日)除草勧告件数:45件	公園課

(2) 事業者の環境保全活動の促進

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 公害防止管理者等設置指導	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に基づく届出(公害防止統括者等の届出) 公害防止組織に関する届出 10件 承継届出 2件	環境保全課
② 製造業環境担当者との情報交換	開催実績なし(法令等の改正なし。)	環境保全課
③ 事業系廃棄物減量・再資源化事業	指導事業所 211事業所	環境都市推進課

(3) 市、事業者、市民の連携の推進

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市環境活動推進協議会との連携	協議会が実施する研修会や各種活動へ参加するとともに、その支援に努めた。	環境総務課
② エコマップ作成	特記事項なし。	環境総務課

第2節 環境配慮対策

(1) 環境情報の整備と共有化

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 「広報あきた」の発行	<p>以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事(災害廃棄物の受け入れに伴う環境情報含む。)を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」「全市一斉清掃」「環境イベント告知」などを通常記事として掲載した。</p> <p>・特集記事 平成24年4月6日号「あなたにぴったりの生ごみ減量方法はこれ！」 平成24年6月15日号「はじまるよ！家庭ごみ有料化」、「震災がれきの試験溶解/結果は今のところ 安全性に問題なし」 平成24年8月3日号「東北の一員として被災地復興を支援」 平成24年9月7日号「ごみ減量のポイントは生ごみと雑がみです」 平成24年12月21日号「安心して実感！家庭内のごみ減量」 平成25年1月18日号「ごみ減量目標まで、一人1日あと48グラム！」 平成25年2月1日号「お家でできるよ！ごみ減量」 平成25年2月15日号「ぎゅっと水切りしっかり紙も分別でごみ減量」 平成25年3月15日号「春の全市一斉清掃」</p>	広報広聴課
② 市政番組の放送	<p>家庭系ごみの有料化に伴うごみ減量の啓発と、災害廃棄物の受け入れに伴う環境情報について、広報番組で広く市民に提供した。</p> <p>・広報テレビ番組 5分番組(民放3局) 平成24年5月上旬放送「家庭系ごみの有料化について」 平成24年6月中旬放送「秋田市ほっと情報中 災害廃棄物の受け入れについて」 平成24年7月上旬放送「家庭系ごみ有料化のご案内」 平成25年2月上旬放送「生ごみ減量目標達成に向けて」 15分番組 おはよう秋田市長です(ABS秋田放送) 平成24年5月27日放送「家庭系ごみの有料化について」 平成24年12月23日放送「平成24年を振り返る中 災害廃棄物の受け入れについて、家庭系ごみの有料化について」</p> <p>・広報ラジオ番組(民放2局) 平成24年4月9・10日放送「コンポスター購入費補助事業について」 平成24年5月21・22日放送「家庭系ごみの有料化について」 平成24年6月18・19日放送「家庭系ごみの有料化について」 平成24年10月22・23日放送「ごみ出しのルールを守ろう！」</p>	広報広聴課
③ 環境情報の整備・提供	<p>・ホームページ、広報、テレビ、ラジオ、新聞等を通じた情報提供の充実に努めた。(環境部各課所室)</p> <p>・「秋田市地球温暖化対策実行計画」をホームページに掲載し、周知を図った。(環境総務課)</p> <p>・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した。(環境総務課)</p> <p>・地球温暖化対策情報提供誌「e-市民だより」を発行(6回)した。(環境総務課)</p> <p>・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内51小学校に配布した。(環境総務課)</p> <p>副読本3,000部 指導のてびき150部</p>	環境総務課
④ 地域防災計画策定事業【再掲】	地域防災計画の本編、資料編および防災カルテを市ホームページ等で公開し、周知に努めた。	防災安全対策課

(2) 環境配慮に係るしくみの整備

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 大規模小売店舗立地法に基づく周辺環境配慮	大規模小売店舗立地法に基づく届出に対し、当該店舗の周辺の地域の生活環境の保持の観点から意見の有無を通知した。 ・法第5条第1項 3件(うち1件は、届出のみで手続き終了) 新設の届出…2件「意見なし」 ・法第6条第2項 12件 小売業者を行う者の開店時刻の変更…1件「意見なし」 小売業者を行う者の開店時刻、来客が駐車場を利用する時間帯の変更…7件「意見なし」 小売業者を行う者の開店時刻、来客が駐車場を利用する時間帯、荷さばき可能時間帯の変更の変更…4件「意見なし」	商工労働課
② 開発指導による環境配慮	開発行為の協議において、開発工事中の環境保全対策を指導した。 平成24年度開発許可実績 11件	都市計画課

(3) 環境に配慮したまちづくりの実践

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 各種建設事業	勝平地区コミュニティセンター改築工事および勝平児童センター(仮称)新築工事において、冷暖房効率を上げるための複層ガラスサッシやガスヒートポンプ、消費電力の少ないLED照明や高効率型の照明器具を採用した(H23、H24継続費設定)。	生活総務課
② 各種建設事業【再掲】	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(溶融スラグ入り)を活用した。	駅東工事事務所
③ 各種建設事業【再掲】	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊した舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど環境に配慮したまちづくりを実践した。主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課
④ 各種活性化事業	まちあかり・ふれあい推進事業 ・町内自治活動助成金 28,704千円 ・灯具交換・補修費助成金 160千円 ・防犯灯電気料助成金 45,223千円 ・町内防犯灯設置委託 4,920千円	生活総務課

第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

第1節 環境教育・環境学習

(1) 環境情報の収集と提供

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 「広報あきた」の発行【再掲】	<p>以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事(災害廃棄物の受け入れに伴う環境情報含む)を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」「全市一斉清掃」「環境イベント告知」などを通常記事として掲載した。</p> <p>・特集記事 平成24年4月6日号「あなたにぴったりの生ごみ減量方法はこれ！」 平成24年6月15日号「はじまるよ！家庭ごみ有料化」、「震災がれきの試験溶解/結果は今のところ 安全性に問題なし」 平成24年8月3日号「東北の一員として被災地復興を支援」 平成24年9月7日号「ごみ減量のポイントは生ごみと雑がみです」 平成24年12月21日号「安心して実感！家庭内のごみ減量」 平成25年1月18日号「ごみ減量目標まで、一人1日あと48グラム！」 平成25年2月1日号「お家でできるよ！ごみ減量」 平成25年2月15日号「ぎゅっと水切りしっか紙も分別でごみ減量」 平成25年3月15日号「春の全市一斉清掃」</p>	広報広聴課
② 市政番組の放送【再掲】	<p>家庭系ごみの有料化に伴うごみ減量の啓発と、災害廃棄物の受け入れに伴う環境情報について、広報番組で広く市民に提供した。</p> <p>・広報テレビ番組 5分番組(民放3局) 平成24年5月上旬放送 「家庭系ごみの有料化について」 平成24年6月中旬放送 「秋田市ほっと情報中 災害廃棄物の受け入れについて」 平成24年7月上旬放送 「家庭系ごみ有料化のご案内」 平成25年2月上旬放送 「生ごみ減量目標達成に向けて」 15分番組 おはよう秋田市長です(ABS秋田放送) 平成24年5月27日放送 「家庭系ごみの有料化について」 平成24年12月23日放送 「平成24年を振り返る中 災害廃棄物の受け入れについて、家庭系ごみの有料化について」</p> <p>・広報ラジオ番組(民放2局) 平成24年4月9・10日放送 「コンポスター購入費補助事業について」 平成24年5月21・22日放送 「家庭系ごみの有料化について」 平成24年6月18・19日放送 「家庭系ごみの有料化について」 平成24年10月22・23日放送 「ごみ出しのルールを守ろう！」</p>	広報広聴課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
③ 環境教育の実施	<p>【総合的な学習の時間に自然体験を行っている学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校45項中33校(73.3%) ・中学校24項中13校(54.1%) <p>【環境教育をねらいとした活動の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎以外のクリーンアップ <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中29校(64.4%) 中学校24校中19校(79.2%) ・学校農園、学校林活動等の緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中33校(73.3%) 中学校24校中3校(12.5%) ・川の水質汚濁、酸性雨等の調査活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中7校(15.6%) 中学校24校中2校(8.3%) ・古紙、空きびん、空き缶回収等のリサイクル活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中37校(82.2%) 中学校24校中23校(95.8%) ・ごみの減量化 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中25校(55.6%) 中学校24校中7校(29.2%) 	学校教育課
④ 環境情報の整備・提供【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報、テレビ、ラジオ、新聞等を通じた情報提供の充実に努めた。(環境部各課所室) ・「秋田市地球温暖化対策実行計画」をホームページに掲載し、周知を図った。(環境総務課) ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した。(環境総務課) ・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(6回)した。(環境総務課) ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内51小学校に配布した。(環境総務課) <p>副読本3,000部 指導のてびき150部</p>	環境総務課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑤ 環境学習推進事業	<p>【環境展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局が実施する「水道ふれあいフェア」と合同で、「環境展」を開催した。 ・日時 平成24年6月2日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 コンポスター・EMバケツ・ダンボールを活用した生ごみ減量手法の紹介 ごみ分別つりゲーム みんなで参加 環境「すごろく」 持ってみよう エネルギーのかばん 感じる測る 省エネ効果 あなたの家庭をエコ診断(うちエコ診断) スマートシティ情報統合管理基盤のデモ <p>【親子環境教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。環境部においても平成7年度から平成10年度まで、小学生を対象に「夏休みこども環境教室」を開催してきた。平成11年度からは、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「夏休み親子環境教室」を開催してきた。平成24年度は、年4回開催した。 ・ホテル観察会 日時 6月30日(土)19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホテル講座、観察 ・ホテル観察会 日時 7月7日(土)19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホテル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月26日(木) 9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月10日(金) 9:00～11:00 内容 温度をはかってみよう 二酸化炭素をしらべよう マローブルーでpHをはかろう どんな元素があるか分析しよう いろいろなものを冷やしてみよう 	環境総務課
⑥ 環境学習サポート事業	<p>環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種環境学習会 48回開催 1,785人参加 	環境総務課

(2) 環境学習プログラムの整備と機会の充実

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 子ども体験活動推進事業	市内4公民館や4市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカーヌー教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した(事業数23、参加延べ人数1,475人)。	生涯学習室
② 太平山自然学習センター運営事業【再掲】	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→41ページ	太平山自然学習センター
③ 体験学習やふれあい教室の実施	・動物の飼育や園内管理作業を体験する「お仕事体験」や「インターンシップ」などの体験学習には、合計で67件、862人の参加があった。 ・また、来園者を対象に小動物とのふれあいを行う「なかよしタイム」には、開催240日で38,271人、幼稚園や小学校などの申し込みによる「ふれあい教室」には、132件、3,944人の参加があった。	大森山動物園
④ 命のつなぎ(種の保存)事業活動【再掲】	・動物園内の沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、秋田淡水魚研究会の協力により、沼の生息状況調査などを計2回実施したほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池の中で、約430尾の稚魚を孵化させ、元の沼に放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、約370個の稚貝を確認した。さらに、ゼニタナゴ保全活動の一環として、地域小学校等と協力し、外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて約1,400尾を駆除した。	大森山動物園
⑤ 環境教育展示	・園内で実施している絶滅危惧種ゼニタナゴの保全活動の一環として、資料館の中で水槽展示しているゼニタナゴ約20尾を、本年産の稚魚に入れ替え、保全活動への理解を求めた。なお、これまで水槽展示した魚は、繁殖用として保護池へ移動した。 ・また、比較展示の意味もこめて、絶滅危惧種のシナイモツゴとアカヒレタビラについても、継続して飼育展示中である。	大森山動物園
⑥ 農業体験学習推進対策事業	平成24年度農業体験学習推進対策事業概要 ※別添資料→45ページ	農林総務課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
<p>⑦ 環境学習推進事業 【再掲】</p>	<p>【環境展】 ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局が実施する「水道ふれあいフェア」と合同で、「環境展」を開催した。 ・日時 平成24年6月2日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 コンポスター・EMバケツ・ダンボールを活用した生ごみ減量手法の紹介 ごみ分別つりゲーム みんなで参加 環境「すごろく」 持ってみよう エネルギーのかばん 感じる測る 省エネ効果 あなたの家庭をエコ診断(うちエコ診断) スマートシティ情報統合管理基盤のデモ</p> <p>【親子環境教室】 ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。 環境部においても平成7年度から平成10年度まで、小学生を対象に「夏休み子ども環境教室」を開催してきた。平成11年度からは、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「夏休み親子環境教室」を開催してきた。平成24年度は、年4回開催した。 ・ホテル観察会 日時 6月30日(土)19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホテル講座、観察 ・ホテル観察会 日時 7月7日(土)19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホテル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月26日(木) 9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月10日(金) 9:00～11:00 内容 温度をはかってみよう 二酸化炭素をしらべよう マローブルーでpHをはかろう どんな元素があるか分析しよう いろいろなものを冷やしてみよう</p>	<p>環境総務課</p>

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑧ 市職員の環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 各課所室校の担当者(エコあきた日常推進員)に対し、秋田市環境配慮行動計画の取組状況および取組強化について説明会を開催した。 文書取扱主任会議等を通じ、紙類の分別・リサイクルおよび使用量の節減について、職員に徹底した。 エコ通勤ウイーク(毎月第4金曜日のある週)を設定し、全職員に、自転車や徒歩、公共交通機関での通勤を呼びかけた。 	環境総務課
⑨ 環境学習サポート事業【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。 各種環境学習会 48回開催 1,785人参加 	環境総務課
⑩ 資源集団改修事業	<ul style="list-style-type: none"> 7月から資源集団回収登録団体への奨励金単価を改正した。 奨励金算出基礎 1～12月分 実施回数割額 450円/回(月2回以上実施した時は1回分とする。) 回収数量割額 1Kgあたり雑誌・雑がみ4円、その他1.5円(1月～6月) 1Kgあたり雑誌・雑がみ6円、ほか2円、その他1.5円(7月～12月) 実施団体数 575団体 集団回収回数 4,717回 	環境都市推進課

(3) 人材の育成と連携の促進

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 子ども体験活動推進事業【再掲】	市内4公民館や4市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカーヌー教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した(事業数23、参加延べ人数1,475人)。	生涯学習室
② こどもエコクラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> こどもが誰でも参加できる環境活動のクラブ。環境学習・環境保全などの活動を行っている。 こどもエコクラブ事業・・・環境省が平成7年度より企画・推進している。 本市の状況 こどもエコクラブ登録者 26クラブ(メンバー2,236人、サポーター161人) 壁新聞応募 1クラブ 	環境総務課

第2節 地球環境問題

(1) 地球環境保全対策

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
<p>① 環境学習推進事業 【再】</p>	<p>【環境展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局が実施する「水道ふれあいフェア」と合同で、「環境展」を開催した。 ・日時 平成24年6月2日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 コンポスター・EMバケツ・ダンボールを活用した生ごみ減量手法の紹介 ごみ分別つりゲーム みんなで参加 環境「すごろく」 持ってみよう エネルギーのかばん 感じる測る 省エネ効果 あなたの家庭をエコ診断(うちエコ診断) スマートシティ情報統合管理基盤のデモ <p>【親子環境教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。環境部においても平成7年度から平成10年度まで、小学生を対象に「夏休みこども環境教室」を開催してきた。平成11年度からは、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「夏休み親子環境教室」を開催してきた。平成24年度は、年4回開催した。 ・ホテル観察会 日時 6月30日(土) 19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホテル講座、観察 ・ホテル観察会 日時 7月7日(土) 19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホテル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月26日(木) 9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月10日(金) 9:00～11:00 内容 温度をはかってみよう 二酸化炭素をしらべよう マローブルーでpHをはかろう どんな元素があるか分析しよう いろいろなものを冷やしてみよう 	<p>環境総務課</p>

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
② 酸性雨のモニタリング	酸性雨や酸性雪の実態を把握するため、降雨については市庁舎分館屋上、降雪については市営八橋球場において調査を実施した。その結果、水素イオン濃度は、加重平均値で降雨が4.6、降雪が4.4となっており、秋田市の降雨・降雪は、測定以来、酸性で推移している。	環境保全課
③ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	<p>【環境総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 四半期に一度、実績について報告を受けている。 <p>【契約課】</p> <p>用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。</p> <p>※別添資料→42ページ</p>	環境総務課
④ 海外交流都市との情報交換	各都市のホームページ等により、情報収集に努めた。	企画調整課

(2) 地球温暖化の防止

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
① 温暖化対策実行計画の推進・見直し	<ul style="list-style-type: none"> エコあきた行動計画に基づき、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減に努めた。 平成24年度の排出量 119,828t-CO₂(平成17年度比11.2%減) 秋田市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の事務事業および市民、市内事業者等の活動に対し、地球温暖化対策を総合的に推進した。 	環境総務課
② 市民版ISOの推進	<ul style="list-style-type: none"> 各種啓発イベントでe-市民認定システムへの参加を呼びかけた(平成24年度 e-市民認定システム中・上級コース新規登録者数 13人)。 情報紙「e-市民だより」を隔月発行し、市民への配布および公共施設への設置等により、ごみ減量、省エネ等に関する取組の啓発を行った。 	環境総務課
③ 低公害車導入・普及【再掲】	市民・事業者にも率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→40ページ	環境総務課
④ エコドライブの推進	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ講習会を開催した。 日 時 平成24年5月19日、10月6日 場 所 秋田県警察運転免許センター 参加者数 42名 エコ通勤ウィーク(毎月第4金曜日のある週)を設定し、全職員に、自転車や徒歩、公共交通機関での通勤を呼びかけた。 	環境総務課
⑤ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	<p>【環境総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 四半期に一度、実績について報告を受けている。 <p>【契約課】</p> <p>用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。</p> <p>※別添資料→42ページ</p>	環境総務課

取組名	24年度の取組実績	担当課所室
⑥ オフセット・クレジット制度活用推進経費	市有林の間伐に伴う森林の二酸化炭素吸収を基に、オフセット・クレジット(J-VET)を販売(28t-CO ₂)した。	農地森林整備課
⑦ スマートシティ情報統合管理基盤の構築【再掲】	センサーを設置するなど、市役所のエネルギー使用状況の可視化を行い、エネルギー削減に努めた。結果、センサー設置施設では、対前年比3.2%削減を達成した。	環境総務課
⑧ 地域ESCO事業導入【再掲】	市有4施設(秋田テルサ、サンライフ秋田、保健センター、山王中学校)について、ESCO事業による省エネ改修を実施した。	環境総務課

別添資料「低公害車導入・普及」関係(P8、P38)

秋田市役所の低公害車等保有・購入台数状況(平成24年度末時点)

	貨物自動車		乗合・乗用		軽自動車		特殊自動車等		合計	
	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数
低公害車以外	59	2	58	0	32	5	239	0	388	7
低 公 害 車	燃料電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気	0	0	0	0	2	1	0	0	2
	天然ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メタノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	13	1	0	0	2	1	15
	H17☆☆☆☆&低燃費	1	0	41	2	22	5	26	5	90
	H17☆☆☆&低燃費	6	1	10	1	36	7	1	0	53
	H12☆☆☆&低燃費	1	0	7	0	0	0	1	0	9
	H12☆☆&低燃費	2	0	4	0	6	0	4	0	16
	H12☆&低燃費	5	0	10	0	8	0	0	0	23
	水素	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラグインハイブリッド自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	74	3	143	4	106	18	273	6	596	31

※購入台数は、24年度中に購入した車の台数

※保有台数は、購入台数を含む総数

別添資料「太平山自然学習センター運営事業」関係(P12、P34)

	事業名	主な内容	期日等	対象等	人数
学校教育利用	○宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山)	5/7 ~2/15	74校	6,118人
	○日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)		1校	7人
	計			75校	6,125人
一般利用	宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山)	4/10 ~3/31	40団体	1,393人
	日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)		28団体	991人
	計			68団体	2,384人
主催事業	まんたらめ 春のファミリーハイキング	リゾート公園内ハイキング	4/29	家族	28人
	まんたらめ 太平山前岳登山	太平山前岳登頂、自然体験	4/30	一般	21人
	まんたらめ 夏のファミリーキャンプ	テント設営体験、ダッチオープン料理	7/22	家族	22人
	まんたらめ チャレンジキャンプ	太平山前岳登山、野外炊飯、ナイトハイク、テント泊、オリエンテーリング	8/2 ~3	小学5・ 6年生	9人
	まんたらめ サマーキャンプ	オリエンテーリング、クイズラリー、野外炊飯、ダッチオープン、ナイトハイク、テント泊、木工クラフト	8/20 ~21	中学1・ 2年生	12人
	まんたらめ ちびっこキャンプ	花公園ハイキング、妙見山登山、木の実・木の葉のクラフト、きりたんぼ作り	10/6 ~7	小学1・ 2年生	25人
	まんたらめ 秋の自然とふれあい隊	アイスブレイク、ピザ作り、ネイチャーゲーム	10/13	小学4・ 6年生	10人
	まんたらめ ダッチオープン料理	ダッチオープン料理	10/21	一般	10人
	まんたらめ 秋のファミリーキャンプ	紅葉ハイキング、クリスマスリース作り、ピザ作り	11/3 ~4	家族	44人
	まんたらめ ウインターキャンプ	うどん打ち、館内テント泊、スノーキャンドル作り、スノーシュー体験	1/9 ~10	小学3・ 4年生	57人
	まんたらめ 冬のファミリーキャンプ	スキー教室、スノーキャンドル作り	2/9 ~10	家族	26人
	まんたらめ スノーシューでトレッキング	スノートレッキング、森のクラフト作り	2/11	一般	3人
	計				267人
その他	学校利用説明会、ボランティア等				272人

平成24年度秋田市役所環境物品等調達（グリーン購入）実績

特定調達品目 分類(品目)	調達目標	年間累計			目標 達成の 可否	
		購入総数	非グリーン 購入数	調達率 (%)		
紙類合計	99%	55,512,522	1,358,287	97.6%	×	
文具類 合計	95%	440,585	52,465	88.1%	×	
オフィス家具類	95%	560	118	78.9%	×	
OA機器	電卓・電池・トナーなど	今後検討	14,060	616	95.6%	-
	その他	95%	9,806	678	93.1%	×
家電製品 合計	99%	16	1	93.8%	×	
エアコンデショナー 合計	95%	78	6	92.3%	×	
温水器 合計	今後検討	5	2	60.0%	-	
照明 合計	95%	4,947	916	81.5%	×	
自動車等	自動車	100%	3	0	100.0%	○
	タイヤ・エンジンオイル	今後検討	26	7	73.6%	-
消火器	50%	350	14	96.0%	○	
制服・作業服 合計	80%	1,078	130	87.9%	○	
インテリア・寝装 合計	80%	88	16	81.8%	○	
作業手袋	50%	2,418	2,227	7.9%	×	
その他繊維製品 合計	50%	25	3	88.0%	○	
防災備蓄用品 合計	今後検討	24,720	0	100.0%	-	
役務	印刷	75%	1,553	16	99.0%	○
	その他	今後検討	270	4	98.5%	-

○：目標達成
×：目標未達成
-：目標設定なし

【実績の概要】

取組項目：14
達成項目：6

別添資料 「エコオフィスの推進」関係（P25）

秋田市役所環境配慮行動計画（エコあきた行動計画）の取組実績について

1 秋田市役所環境配慮行動計画について

本市では、事務事業に伴う環境負荷の低減に取り組むため、平成14年度に通称「エコあきた行動計画」を策定して、各課所室の推進員が毎年行動目標を立て、電気や暖房等のエネルギー使用、コピー用紙等の資源の消費を管理しながら、全庁を挙げてエコオフィスの推進に取り組んでいる。

24年度は、19年度に改訂した計画（計画期間：H20～H24年度）の最終年度である。

なお、今年度から4年を計画期間とした新たな取組がスタートしている。

2 環境負荷低減取組項目の目標と取組実績

(1) エコオフィス

事務分野におけるエネルギー使用量やごみ排出量の削減に向けた取組においては、「17年度を基準に5%以上の削減」を達成した。

また、削減重点項目として位置づけていたコピー用紙の購入量については、今回も10%以上とした目標達成に至っていないため、更なる取組の強化が必要である。

<各項目の削減率>

取組項目と基準値 (基準は平成17年度実績)		H24年度 実績	対17年度削減率 ()は目標
電気使用量	25,962 千kWh	22,470 千kWh	▲13% (▲5)
水道水使用量	523 千m ³	458 千m ³	▲12% (▲5)
ガス使用量	1,567 千m ³	1,376 千m ³	▲12% (▲5)
公用車燃料使用量	296 k1	279 k1	▲6% (▲5)
暖房等燃料使用量	2,050 k1	1,586 k1	▲23% (▲5)
ごみ排出量	1,829 t	1,390 t	▲24% (▲5)
コピー用紙使用量	59,243 千枚	58,277 千枚	▲2% (▲10)

(2) 温室効果ガス排出量

秋田市役所の事務事業で発生した温室効果ガスは、基準年度と比較し、

11.2%削減されており、取組目標である5%削減を達成した。

(単位:t-CO2)

排出量	H17基準年度	H24年度実績	対H17年度比	
合計	135,075	119,828	▲15,247	▲11.2%

※削減量は、秋田市の一般家庭2,700世帯が一年間に排出するCO2に相当

(3) 環境配慮物品の調達

グリーン購入調達目標を設定している14品目に対し、6品目において目標を達成した。目標達成に至っていないものについても、4品目で調達率が90%を超えた。

<平成24年度グリーン購入実績>

特定調達品目	調達目標 (%)	調達率 (%)	達成の可否
自動車	100	100.0	○
消火器	50	96.0	○
制服・作業服	80	87.9	○
インテリア・寝装	80	81.8	○
その他繊維製品	50	88.0	○
印刷	75	99.0	○
紙類	99	97.6	×
OA機器(電卓等除く)	95	93.1	×
家電製品	99	93.8	×
エアコンディショナー	95	92.3	×
文具	95	88.1	×
オフィス家具	95	78.9	×
照明	95	81.5	×
作業手袋	50	7.9	×

調達率
90%
以上

※ 地方自治体では、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づき、取組を求められている。

3 今後の取組

平成27年度に新庁舎が完成し、使用するエネルギーも大幅に変動するため、今年度から始まっている現計画では、計画期間を25年度から28年度までの4年間としている。エコオフィスについては、24年度を基準に4%の削減を目標としている。

別添資料 「農業体験学習推進対策事業」関係（P34）

各学校事業実施概要

桜小学校	486名	5月上旬	田植え学習（見学）
		5月下旬	田植え学習（バケツ苗）野菜苗植え
		6月上旬	播種（枝豆）野菜苗植え
		6月～9月	畑、バケツ稲の手入れ、観察、収穫
		8月下旬	枝豆の収穫、試食
		9月下旬	稲刈り
		11月中旬～下旬	調理実習、縄ない実習
		12月上旬	調理実習（豆腐づくり）
太平小学校	25名	5月上旬	オリエンテーション
		5月下旬	田植え
		6月中旬	野菜苗の植え付け
		6月～8月	稲の生育観察、除草、追肥、野菜の収穫
		9月中旬	稲刈り体験
		11月中旬	農業科学館での農業学習
		12月上旬	収穫祭
		12月～2月	農業体験学習のまとめ
けやき平幼稚園	61名	5月～10月	耕起、代かきなどの田植への準備の観察
			田植え、稲刈りを体験
			収穫した米できりたんぼづくり、試食
		6月～11月	野菜の苗植え、播種、水やり
収穫、芋煮会等			